



平成 25 年度 京都大学防災研究所 研究発表講演会 プログラム

開催日：平成 26 年 2 月 27 日 (木)～2 月 28 日 (金)

入場無料

場 所：京都大学宇治キャンパス (宇治市五ヶ庄)

JR 奈良線黄檗駅から徒歩約 5 分 京阪宇治線黄檗駅から徒歩約 6 分

○平成 26 年 2 月 27 日 (木)

所長挨拶	きはだホール (宇治おうばくプラザ) ……………	9 : 30 ~ 9 : 35
第 1 回 DPRI Award 受賞式	きはだホール (宇治おうばくプラザ) ……………	9 : 35 ~ 9 : 45
受賞記念講演	きはだホール (宇治おうばくプラザ) ……………	9 : 45 ~ 10 : 45
招待講演	きはだホール (宇治おうばくプラザ) ……………	11 : 00 ~ 12 : 00
災害調査報告	きはだホール (宇治おうばくプラザ) ……………	13 : 00 ~ 14 : 15
一般講演	……………	14 : 30 ~ 18 : 00
ポスターセッション	……………	9 : 30 ~ 18 : 00

○平成 26 年 2 月 28 日 (金)

一般講演	……………	9 : 00 ~ 12 : 00
ポスターセッション・コアタイム	……………	12 : 00 ~ 14 : 00
一般講演	……………	14 : 00 ~ 17 : 00
ポスターセッション	……………	9 : 00 ~ 15 : 00
懇親会 (会場：宇治生協会館)	……………	18 : 00 ~ 20 : 00

一般講演会場

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	ハイブリッドスペース (宇治おうばくプラザ)
27 日 (木) 14:30 ~ 18:00	総合防災 (I)	大気・水 (I)	大気・水 (II)	GCOE	地震・火山 (I)	
28 日 (金) 9:00 ~ 12:00	総合防災 (II)	大気・水 (III)	大気・水 (IV)	地盤 (I)	地震・火山 (II)	ポスター セッション (時間は上記)
28 日 (金) 14:00 ~ 17:00	総合防災 (III)	大気・水 (V)	大気・水 (VI)	地盤 (II)	地震・火山 (III)	

- A 会場 …… きはだホール (宇治おうばくプラザ)
- B 会場 …… セミナー室 1+2 (宇治おうばくプラザ)
- C 会場 …… セミナー室 4+5 (宇治おうばくプラザ)
- D 会場 …… 水資源演習室 S-217D (防災研究所本館)
- E 会場 …… セミナー室 (木質ホール)

※詳しい会場案内図は 21 ページをご参考ください。

平成 26 年 2 月 27 日 (木)
〈宇治おうばくプラザ きはだホール〉

9:30 所長挨拶
所長 大志万直人

9:35 第 1 回 DPRI Award 受賞式

受賞記念講演 9:45~10:45

9:45
「巨大地震の多様性とそれに応じた減災対策」
カリフォルニア工科大学名誉教授 金森博雄

招待講演 11:00~12:00

11:00
「大規模数値計算の地震工学への適用可能性」
東京大学地震研究所
巨大地震津波災害予測研究センター教授
堀 宗朗

休憩

災害調査報告 13:00~14:15

13:00
「台風 18 号の豪雨災害と日吉ダムの洪水調節効果」

教授 角 哲也

13:25
「台風 26 号による伊豆大島の斜面崩壊」
准教授 寺嶋智巳

13:50
「台風 Haiyan によるフィリピンレイテ島の高潮災害」

助教 安田誠宏

A 会場 一般講演 総合防災（Ⅰ） 平成 26 年 2 月 27 日（木） 14:30～18:00		休憩	A 会場 27 日 午後
<p>14:30 A01 観測記録に基づく実大鉄骨架構の物理パラメタの同定に関する研究 ○ 島山直己・松島信一・川瀬 博</p> <p>14:45 A02 機能的フラジリティ曲線を用いた降灰時の交通容量推計に関する研究 ○ 玉置哲也・多々納裕一</p> <p>15:00 A15 不慣れな業務の効率化手法の検討 - 罹災証明発給業務を例にして - ○ 村上滋希・林 春男</p> <p>15:15 A04 都市生活者と事業者の断水受忍限度に基づいた非飲用水の災害時潜在需要推計 ○ 吉澤源太郎・畑山満則</p> <p>15:30 A17 災害対応における状況認識統一の為の WebGIS を用いた地図活用手法標準化に関する研究 ○ 山口龍太郎・林 春男</p> <p>15:45 A06 Experimental Study of Steel Slit Shear Walls with X-shaped Links Capable of Condition Assessment ○ Liusheng HE・Kei FUKIHARA・Kazuhiro HAYASHI・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA</p>	<p>16:15 A07 Damage Progressing and Collapse of Tall Buildings with Various Beam-Column Strength Deterioration Factors ○ Yongtao BAI・Shitaro MATSUO・Akihiko KAWANO</p> <p>16:30 A08 変形性能に着目した耐震補強工法の実験的および数値解析的研究 ○ 山本梨絵・川瀬 博・松島信一・山口秋生・三宅英隆</p> <p>16:45 A09 スマートフォンを利用した被害予測情報の配信に関する実証的研究 ○ 秋月佑太・川瀬 博・松島信一</p> <p>17:00 A10 観測地震動とその構造物破壊能 - 東北地方太平洋沖地震と中国汶川地震の比較 - ○ 宝音図・川瀬 博・松島信一</p> <p>17:15 A11 福岡県警固断層沿いにおける地盤震動特性の把握と地盤構造同定 ○ 長嶋史明・川瀬 博・松島信一</p> <p>17:30 A18 東日本大震災における宮城県災害対策本部及び関係組織の動きに関する研究 ○ 趙 迎・林 春男</p> <p>17:45 A19 道路占用許可申請業務における Web 上での災害時業務と平常時業務の連携性の検討 ○ 周 瑜・林 春男</p>	<p style="text-align: center;">B 会場</p> <p style="text-align: center;">C 会場</p> <p style="text-align: center;">D 会場</p> <p style="text-align: center;">E 会場</p> <p style="text-align: center;">ポ ス タ ー</p>	

A 会場 28日 午前	<p style="text-align: center;">A 会場 一般講演 総合防災（Ⅱ） 平成 26 年 2 月 28 日（金） 9：00～12：00</p>	<p>10:45 A20 Keyword Analysis of the Relationship between Tweets and Shaking Intensity after 3.11 Tohoku Earthquake and Tsunami Disaster ○伍 傑濤・林 春男</p>
B 会場	<p>9:00 A14 復興まちづくりと地域の慣習 -社会ネットワーク分析アプローチ- ○小谷仁務・横松宗太</p>	<p>11:00 A21 科学的根拠に基づく意思決定の普及方策の検討 -京都府の集中豪雨対策の取り組みを通じて- ○三宅英知・林 春男</p>
C 会場	<p>9:15 A03 A Methodology for Estimation of Business Interruption Loss Caused by Flood Disaster : A Case Study of Tokai Heavy Rain ○Lijiao YANG・Yoshio KAJITANI・Hirokazu TATANO</p>	<p>11:15 A22 A Methodology for Assessment of Spatial Distribution of Flood Risk: Considering Multiple Flood Sources ○Xinyu JIANG・Hirokazu TATANO</p>
D 会場	<p>9:30 A16 An Analysis of Tourist Perceptions and Responses towards Disasters: a Case Study of Sichuan after Earthquakes ○呉 麗慧・林 春男</p>	<p>11:30 A23 Study on the Effect of Sediment Size on the River Dyke Breach Characteristics due to Flow Overtopping ○Pawan Kumar BHATTARAI・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p>
E 会場	<p>9:45 A05 マルチエージェントシミュレーションを用いたコミュニティ避難計画の策定支援 ○中居楓子・畑山満則・矢守克也</p>	<p>11:45 A24 Experimental Study on the Discharge Coefficient for Side Weir with Pressurized Flow in Circular Channel ○Dongwoo KO・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p>
ポ ス タ ー	<p>10:00 A12 「羅生門問題」からみた被災地の復興過程 -茨城県大洗町を例に- ○李フシン・宮本 匠・矢守克也</p> <p>10:15 A13 正統的周辺参加理論に基づく防災学習の実践 ○岩堀卓弥・城下英行・宮本 匠・矢守克也</p> <p style="text-align: center;">休憩</p>	

<p>A 会場 一般講演 総合防災（Ⅲ） 平成 26 年 2 月 28 日（金） 14：00～15：15</p>	<p>A 会場 28 日 午後</p>
<p>14:00 A25 途上国における防災投資の経済成長 効果の定量的分析 ○横松宗太・湧川勝己・和田裕行・ 竹谷公男</p>	<p>B 会場</p>
<p>14:15 A26 参加型防災計画のためのリスクガバナ ンスプロセス ○Hirokazu TATANO・Junho CHOI・ Subhajyoti SAMADDAR</p>	<p>C 会場</p>
<p>14:30 A27 東日本大震災における外貿コンテナ貨 物の代替港湾の利用状況に関する分析 ○赤倉康寛・小野憲司</p>	<p>D 会場</p>
<p>14:45 A28 自動車産業サプライチェーンにおける東 日本大震災のインパクト分析 ○小野憲司・神田正美・赤倉康寛</p>	<p>E 会場</p>
<p>15:00 A29 津波避難に対するサーファー意識の全 国調査 ○安田誠宏・任田卓人・畑山満則・ 池本 藍・島田広昭・森 信人・間瀬 肇</p>	<p>ポ ス タ ー</p>

A 会場	<p>B 会場 一般講演 大気・水 (I) 平成 26 年 2 月 27 日 (木) 14:30 ~ 17:45</p>	<p>16:15 B07 震源過程と津波観測波形を用いたハイブリッド型リアルタイム津波予測法 安田誠宏・○藤井厚史・森 信人・間瀬 肇・鈴木 亘</p>
B 会場 27 日 午後	<p>14:30 B01 2013 年 9 月 15 日に和歌山県串本町で発生した竜巻被害について ○林 泰一・西嶋一欽・宮城弘守・河内伸治</p> <p>14:45 B02 竜巻中の飛散物の特性に関する数値計算 丸山 敬</p>	<p>16:30 B10 確率台風モデルとニューラルネットワークを用いた台風の将来変化を考慮した高潮影響評価 森 信人・○國吉早紀・中條壮大・安田誠宏・間瀬 肇</p>
C 会場	<p>15:00 B03 矩形断面を持つ高層建物のアスペクト比および辺長比による風力特性の変化 ○花谷真由子・丸山 敬・河井宏允</p>	<p>16:45 B11 台風下の吹送流に対する波浪の影響 ○二宮順一・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p>
D 会場	<p>15:15 B04 防風ネット周りの気流性状に関する数値解析 藤本瞭一・○玉城 磨・丸山 敬</p> <p>15:30 B05 適合格子細分化法を用いた津波の数値計算 森 信人・○千田 優・安田誠宏・間瀬 肇</p>	<p>17:00 B16 Xバンド偏波レーダーを用いて推定した雨滴粒径分布の時空間構造 山口弘誠・○金原知穂・中北英一</p> <p>17:15 B17 Xバンド偏波レーダによる粒子判別結果を用いた降水セルのライフステージ判別 ○増田有俊・中北英一</p>
E 会場	<p>15:45 B06 市街地スケールにおける陸域遡上津波の再現計算 ○宮下卓也・間瀬 肇・森 信人・安田誠宏</p>	<p>17:30 B18 ゲリラ豪雨の早期探知と危険性予測システムの開発とさらなる高度化に関する研究 中北英一・○西脇隆太・山口弘誠</p>
ポ ス タ ー	<p>休憩</p>	

B 会場 一般講演 大気・水(Ⅲ) 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 9:00 ~ 11:45		A 会場
<p>9:00 B08 MRI-AGCM3.2H にもとづく気候変動による波浪場の極値変化 ○志村智也・森 信人・安田誠宏・間瀬 肇</p> <p>9:15 B09 気候変動が護岸の被災確率に及ぼす影響評価に関する研究 間瀬 肇・○相松孝暢・玉田 崇・安田誠宏・森 信人</p> <p>9:30 B12 60kmAGCM アンサンブルを用いた気候変動に伴う集中豪雨発生要因となる大気場特性の将来予測 ○中北英一・草野晴香・キムスンミン</p> <p>9:45 B13 革新プロ温暖化実験データによる梅雨期の降水の将来変化 ○岡田靖子・竹見哲也・石川裕彦</p> <p>10:00 B14 Evaluation of the Bias Correction Concept with Multiple GCM Outputs ○Sunmin KIM・Eiichi NAKAKITA</p> <p>10:15 B15 雨水貯留施設の実時間制御におけるレーダー降水量予測情報の活用方策に関する研究 ○城戸由能・佐藤 豪・中北英一</p>	<p>10:45 B19 高分解能気象モデルによる近畿圏で豪雨をもたらした降水システムの発生機構の解析 竹見哲也</p> <p>11:00 B20 日本の暖候期における停滞性降水システムの発生前環境場の気候学的特徴 ○鶴沼 昂・竹見哲也</p> <p>11:15 B21 NCEP-GFS を用いた複数解析値からの台風進路予報実験 ○宮地哲朗・榎本 剛</p> <p>11:30 B22 成層圏周極渦分裂現象の予測可能性：2008/2009 年冬のアンサンブル再予報実験 ○野口峻佑・向川 均・黒田友二・水田 亮・直江寛明・納多哲史・藪 将吉・吉村裕正</p>	<p>B 会場</p> <p>28 日 午前</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場</p> <p>E 会場</p> <p>ポ ス タ ー</p>
<p>休憩</p>		

A 会場	<p style="text-align: center;">B 会場 一般講演 大気・水 (V) 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 14:00 ~ 17:00</p>	<p>15:45 B29 気候変動に伴う高潮氾濫シミュレーション - 伊勢湾台風をケーススタディーとして - ○澁谷容子・金 洙列・安田誠宏・森 信人・間瀬 肇</p>
B 会場 28 日 午後	<p>14:00 B23 気象庁1ヶ月アンサンブル予報を用いた冬季成層圏北極点温度の予測可能性に関する解析 ○向川 均・野口峻佑・廣岡俊彦・田口正和・余田成男</p>	<p>16:00 B30 温度成層境界層乱流中での LES 大気拡散計算手法に関する研究 ○中山浩成・竹見哲也・永井晴康</p>
C 会場	<p>14:15 B24 アンサンブル手法に基づく簡易予報感度解析 ○榎本 剛・山根省三・大淵 濟</p>	<p>16:15 B31 都市気象 LES モデルによる豪雨の“種”を捉えるための基礎研究 ○山口弘誠・高見和弥・中北英一</p>
D 会場	<p>14:30 B25 北半球高緯度の陸上生態系における炭素収支の変動について 井口敬雄</p>	<p>16:30 B32 不確実性を伴う災害情報の表現方法に関する検討 ○本間基寛・新井恭子・叶木律子・松本健人・鈴木 靖</p>
E 会場	<p>14:45 B26 GSMaP マイクロ波放射計アルゴリズムに対する地形性降雨推定手法の開発 山本宗尚・○重 尚一</p> <p>15:00 B27 台風の発生と発達メカニズムについて 筆保弘徳</p>	<p>16:45 B33 Real-time Decision Optimization in the Face of Slowly Evolving Natural Hazard Events 西嶋一欽</p>
ポ ス タ ー	<p style="text-align: center;">休憩</p>	

C会場 一般講演 大気・水(Ⅱ) 平成26年2月27日(木) 14:30~17:15		A会場
<p>14:30 C03 融雪型火山泥流の発生メカニズムの実験的解明及びそのモデル化に関する研究 ○村重慧輝・堤大三・宮田秀介・藤田正治・宮田秀介</p> <p>14:45 C04 土砂生産から供給, 輸送堆積過程を考慮した土砂流出モデル ○山野井一輝・藤田正治</p> <p>15:00 C06 Urban Inundation Simulation Incorporating Sewerage System without Structure Effect ○Seungsoo LEE・Hajime NAKAGAWA・Kenji KAWAIKE・Hao ZHANG</p> <p>15:15 C07 降雨の影響による年変動を考慮可能なダム堆砂量の推定 ○田中拓馬・田中賢治・田中茂信</p> <p>15:30 C08 豪雨の時空間分布が地先の浸水リスクに与える影響評価 ○杉本 悠・堀 智晴・野原大督・井上直哉</p> <p>15:45 C10 実時間水文予測情報を活用したダム事前放流操作と利水リスク ○天井洋平・野原大督・堀 智晴</p>	<p>16:15 C11 非静水圧三次元河床変動モデルの構築と水制周りの洗掘現象の検証 ○久保田踊児・米山 望・角 哲也</p> <p>16:30 C14 地球温暖化による河川流況変化が水力発電に及ぼす影響の評価 ○村井彰弘・角 哲也・佐藤嘉展</p> <p>16:45 C15 Reproducing Long-Term Vegetation Variability in Paraguay Using Remotely Sensed Data ○Alicia PAVETTI INFANZON・Kenji TANAKA・Shunji KOTSUKI・Shigenobu TANAKA</p> <p>17:00 C16 不確実性を考慮した将来気候下での渇水リスク評価 ○今村公洋・田中賢治・浜口俊雄・田中茂信</p>	<p>A会場</p> <p>B会場</p> <p>C会場</p> <p>27日午後</p> <p>D会場</p> <p>E会場</p> <p>ポスター</p>
休憩		

A 会場	<p style="text-align: center;">C 会場 一般講演 大気・水(Ⅳ) 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 9:00 ~ 11:45</p>	<p>10:45 C17 Climate Change Impact and Environment Adaptation in Zeravshan River Basin ○Temur KHUJANAZAROV · Kenji TANAKA · Kristina TODERICH</p>
B 会場	<p>9:00 C27 網式消波ユニットの性能と安定性に関する基礎実験 平石哲也</p> <p>9:15 C01 カウンターウェイトブロックの現地への適用 ○松下紘資・平石哲也・東 良慶</p>	<p>11:00 C28 掃流砂観測におけるプレート型ジオフォンとパイプ型 hidroフォン の比較 ○堤 大三・野中理伸・水山高久・藤田正治・宮田秀介・市田兎太郎</p>
C 会場 28日 午前	<p>9:30 C02 Experimental Study of Pile Group Scour due to Waves ○Samaneh GHAZANFARI HASHEMI · Tetsuya HIRAISHI</p>	<p>11:15 C29 河道閉塞による迂回流発生時における流れと河床変動特性 ○竹林洋史・藤田正治</p>
D 会場	<p>9:45 C09 洪水災害及び土砂災害危険度分布を用いた佐用川流域における避難意思決定手法 ○戸田淳治・田中賢治・浜口俊雄・田中茂信</p>	<p>11:30 C05 平成 24 年 8 月宇治豪雨時の斜面崩壊と下流浸水域での堆積土砂との関係について 細田 尚</p>
E 会場	<p>10:00 C12 ヴィクトリア湖集水域における陸域水循環モデルの構築 ○浅野倫矢・小槻峻司・田中賢治・田中茂信</p>	
ポ ス タ ー	<p>10:15 C13 陸面過程モデルによるカスピ海流域における水収支の再現 ○峠 嘉哉・田中賢治・中北英一</p>	
	<p>休憩</p>	

<p style="text-align: center;">C 会場 一般講演 大気・水 (VI) 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 14:00 ~ 16:30</p>	<p>15:45 C24 淀川のアユの溯上に与える大阪湾沿岸の環境要因の影響 ○竹門康弘・浦部真治・角 哲也</p>	<p style="text-align: center;">A 会場</p>
<p>14:00 C18 超高解像度 GCM を用いた世界の水資源量の将来変化予測 ○田中賢治・小槻峻司・田中茂信</p> <p>14:15 C19 現業中長期アンサンブル降水予測情報を考慮したダム利水操作 ○野原大督・堀 智晴</p> <p>14:30 C20 ダム堆砂および気候変動を考慮した牧尾ダムの水資源管理に関する研究 ○角 哲也・寺田和輝・佐藤嘉展・村井彰弘</p> <p>14:45 C21 流域圏環境統合モデリング構築に関する基礎的研究 ○浜口俊雄・鈴木 靖・竹門康弘・佐藤嘉展・田中拓馬・田中茂信</p> <p>15:00 C22 2013 年台風 18 号による淀川流域の雨量・流量資料の確率評価 田中茂信</p> <p>15:15 C23 宇治川における水文水質特性の歴史的変遷とトビケラ発生との関係 ○小林草平・竹門康弘</p>	<p>16:00 C25 布目ダム上流におけるハイドロフォンによる流砂観測：流砂量に及ぼす洪水履歴の影響 ○米田 格・富阪和秀・山崎友也・小林草平・竹門康弘・角 哲也</p> <p>16:15 C26 Coarse Sediment Displacement Upstream of Flood Mitigation Dams ○M. E. Meshkati SHAHMIRZADI・Tetsuya SUMI・Hiroya ISHIDA</p>	
<p style="text-align: center;">休憩</p>	<p style="text-align: center;">C 会場</p> <p style="text-align: center;">28 日 午後</p>	<p style="text-align: center;">D 会場</p>
		<p style="text-align: center;">E 会場</p> <p style="text-align: center;">ポ ス タ ー</p>

A 会場	<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 GCOE 平成 26 年 2 月 27 日 (木) 14 : 30 ~ 17 : 00</p>	<p>15:45 D06 One Dimensional Numerical Simulation on Debris Flow of Sabo Dam ○Namgyun KIM · Hajime NAKAGAWA · Kenji KAWAIKE · Hao ZHANG</p>
B 会場	<p>14:30 D01 Retrospective Analysis of Community's Concerns on Flood Risk and its Reduction in Shiga Prefecture, Japan ○Junho CHOI · Subhajyoti SAMADDAR · Hirokazu TATANO</p>	<p>休憩</p>
C 会場	<p>14:45 D02 Assessment of Land Use Change Impact on the Inundation Conditions ○Pingping LUO · Kaoru TAKARA · Bin HE · Weili DUAN · Maochuan HU · APIP · Tsugihiko WATANABE · Kenichi NAKAGAMI · Izumi TAKAMIYA</p>	<p>16:15 D07 A QBO-Like Oscillation in a Radiative- Convective Equilibrium State Obtained with a Two-Dimensional Explicit Moist Convection Model Hoang-Hai BUI · 西本絵梨子 · ○余田成男</p>
D 会場	<p>15:00 D03 The Variation of Urban Flood Inundation Area with the Application of LID in Hexi, Nanjing ○Maochuan HU · Kaoru TAKARA · Bin HE · Xingqi ZHANG · Pingping LUO · Weili DUAN · Han XUE</p>	<p>16:30 D08 Three Dimensional Numerical Modeling of Flow Field and Flushing Channel Formation in Reservoirs ○Taymaz ESMAEILI · Tetsuya SUMI · Sameh A. KANTOUSH</p>
27 日 午後	<p>15:15 D04 Changes of Precipitation Climate Extremes in Japan During 1901-2012 ○Weili DUAN · Kaoru TAKARA · Bin HE · Pingping LUO · Maochuan HU · Yosuke YAMASHIKI</p>	<p>16:45 D09 Relations of Reach Scale Channel Configuration to the Lentic Habitat Conditions and Abundance of Bitterling and Mussels in the Kizu River ○Mikyong CHOI · Yasuhiro TAKEMON · Masanori TERADA · Sohei KOBAYASHI · Tetsuya SUMI</p>
E 会場	<p>15:30 D05 Ensemble Flood Forecasting Using Transposition of NWP Rainfall Fields Considering Orographic Rainfall ○Wansik YU · Eiichi NAKAKITA · Sunmin KIM · Kosei YAMAGUCHI</p>	
ポ ス タ ー		

<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 地盤 (I) 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 9 : 00 ~ 11 : 45</p>	<p>10:45 D16 Development of Deep-Seated Gravitational Slope Deformation on a Dip Slope by Accelerated River Incision: Insights from Numerical Simulation ○ Yanli HOU · Masahiro CHIGIRA · Ching-Ying TSOU</p>	A 会場
<p>9:00 D10 2009 年パダン地震が引き起こした崩壊 性地すべりの地形・地質的特徴 ○ 中野真帆・千木良雅弘</p>	<p>11:00 D17 Fast Shear Behavior of Granular Materials and Rapid Landsliding Phenomena ○ Yao JIANG · Gonghui WANG · Toshitaka KAMAI</p>	B 会場
<p>9:15 D11 降下火砕物の地震時崩壊 ○ 千木良雅弘・中野真帆</p>	<p>11:15 D18 Physical Modelling of Rainfall-induced Landslides in Wettable/Water Repellent Sand Mixtures ○ Sérgio D. N. LOURENCO · Gonghui WANG</p>	C 会場
<p>9:30 D12 積雪層の物理的・力学的特性が斜面 変動に及ぼす影響 ○ 松浦純生・柴崎達也・岡本 隆・ 大澤 光・中町 聡</p>	<p>11:30 D27 UC Davis と University of Colorado Boulder の遠心載荷装置について 田村修次</p>	D 会場
<p>9:45 D13 地温の季節変動が斜面変動に及ぼす 影響 ○ 柴崎達也・大澤 光・岡本 隆・ 松浦純生</p>		28 日 午前
<p>10:00 D14 河道縦断形に着目した豪雨・地震時の 土砂移動発生位置予測 齊藤隆志</p>		E 会場
<p>10:15 D15 A Changing Magnitude-Frequency Distribution of Landslides in the Central Range, Taiwan. ○ Ching-Ying TSOU · Masahiro CHIGIRA</p>		
<p>休憩</p>		ポ ス タ ー

A 会場	<p style="text-align: center;">D 会場 一般講演 地盤（Ⅱ） 平成 26 年 2 月 28 日（金） 14:00～16:15</p>	<p>15:45 D25 建物近傍の地震時地盤ひずみに影響する埋戻し領域の形状 ○飛田哲男・荒木恵徳</p>
	<p>14:00 D19 伊豆大島におけるテフラの表層崩壊：火山噴火史を考慮した豪雨災害ハザードマップ作成に向けて ○松四雄騎・寺嶋智巳・八反地剛・王 功輝</p>	<p>16:00 D26 液状化地盤における鋼管杭の動座屈応力度評価 ○木村祥裕・田村修次・岸野泰典</p>
B 会場	<p>14:15 D20 豪雨による火山灰斜面の土砂流動化現象：伊豆大島の災害について 王 功輝</p>	
	<p>14:30 D21 地震波形記録から見た 2013 年 10 月 16 日の伊豆大島における斜面崩壊の特徴 ○土井一生・釜井俊孝・王 功輝・森田裕一</p>	
C 会場	<p>14:45 D22 深層崩壊リアルタイム検知に向けて 山田真澄・松四雄騎</p>	
	<p>15:00 D23 地すべり地における地震の観測例Ⅱ ○末峯 章・加納靖之・王 功輝・土井一生</p>	
D 会場 28 日 午後	<p>15:15 D24 ひずみ空間多重せん断モデルによる粘性土地盤の地震応答解析 井合 進</p>	
	<p>休憩</p>	
E 会場		
ポ ス タ ー		

E 会場 一般講演 地震・火山（I） 平成 26 年 2 月 27 日（木） 14:30～17:30		休憩	A 会場
<p>14:30 E01 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震動による福島県浪江町建築被害の悉皆調査 ○澤田純男・後藤浩之・吉田 望・羽田浩二</p>	<p>16:15 E07 軽量鋼部材を組み合わせた省資材耐震補強機構の開発 Masayoshi NAKASHIMA・Miho SATO・ ○Masahiro KURATA・Lei ZHANG・Tracy BECKER</p>	B 会場	
<p>14:45 E02 2011 年東北地方太平洋沖地震時の大阪堆積盆地での長周期地震動特性 ○佐藤佳世子・岩田知孝・浅野公之・久保久彦・青井 真</p>	<p>16:30 E08 超高強度鋼 H-SA700 と通常軟鋼 SM490 を用いた CFT 柱の曲げ圧縮性能比較 ○Kazuhiro HAYASHI・Ryousuke NISHI・Po-chien HSIAO・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA</p>	C 会場	
<p>15:00 E03 中央構造線断層帯（金剛山地東縁－和泉山脈南縁）における重点的な調査観測 ○岩田知孝・中央構造線断層帯（金剛山地東縁－和泉山脈南縁）調査観測研究グループ</p>	<p>16:45 E09 Sensitivity Studies of Dynamic Strain Based Damage Index for Seismic Fracture Detection ○Xiaohua LI・Masahiro KURATA・Masayoshi NAKASHIMA</p>	D 会場	
<p>15:15 E04 非減衰 2 層系伝達関数列による地盤震動特性の級数展開 後藤浩之</p>	<p>17:00 E10 サブストラクチャ共振振動装置を利用した鋼構造柱梁接合部の損傷指標の開発 ○倉田真宏・唐 貞云・峰岸 楓・鈴木明子・白 涌滔</p>	E 会場	
<p>15:30 E05 盆地端部形状が微動 H/V スペクトル比の方位依存性に与える影響 ○松島信一・Florent De MARTIN・川瀬 博・Francisco J. Sánchez-Sesma・廣川貴則</p>	<p>17:15 E11 Improved Simulation Method of the Conventional Buckling Brace and Gusset-plate Connection ○Po-Chien HSIAO・Dawn E. LEHMAN・Charles W. ROEDER</p>	27 日 午後	
<p>15:45 E06 大阪盆地 3 次元速度構造モデルによる 2013 年淡路島の地震の地震動シミュレーション ○浅野公之・関口春子・岩田知孝・吉見雅行・林田拓己・竿本英貴・堀川晴央</p>		ポ ス タ ー	

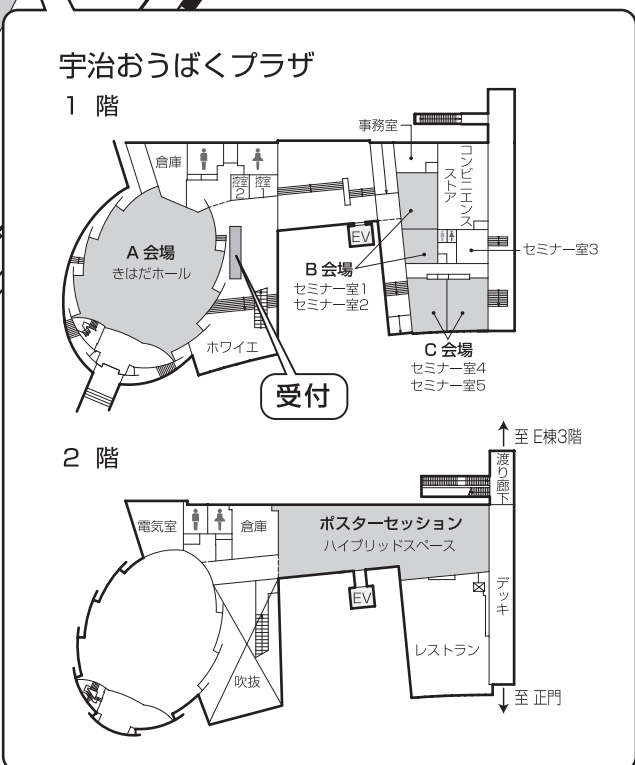
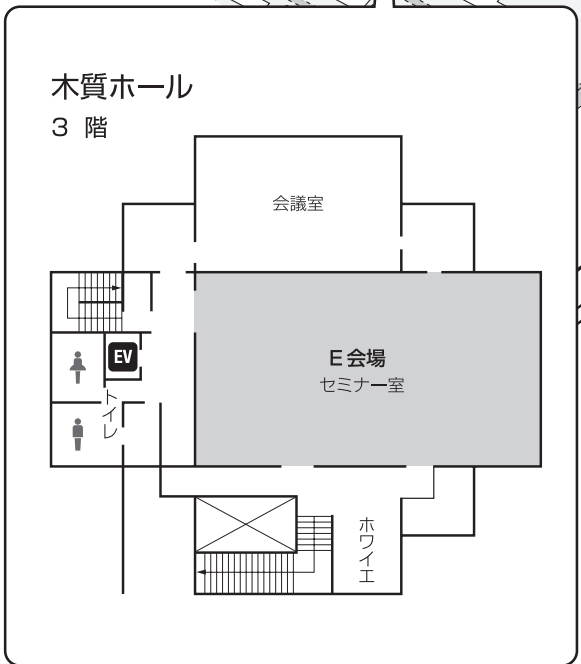
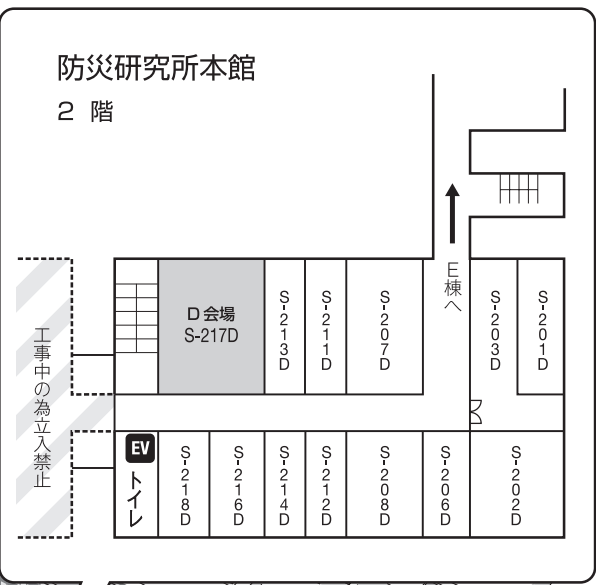
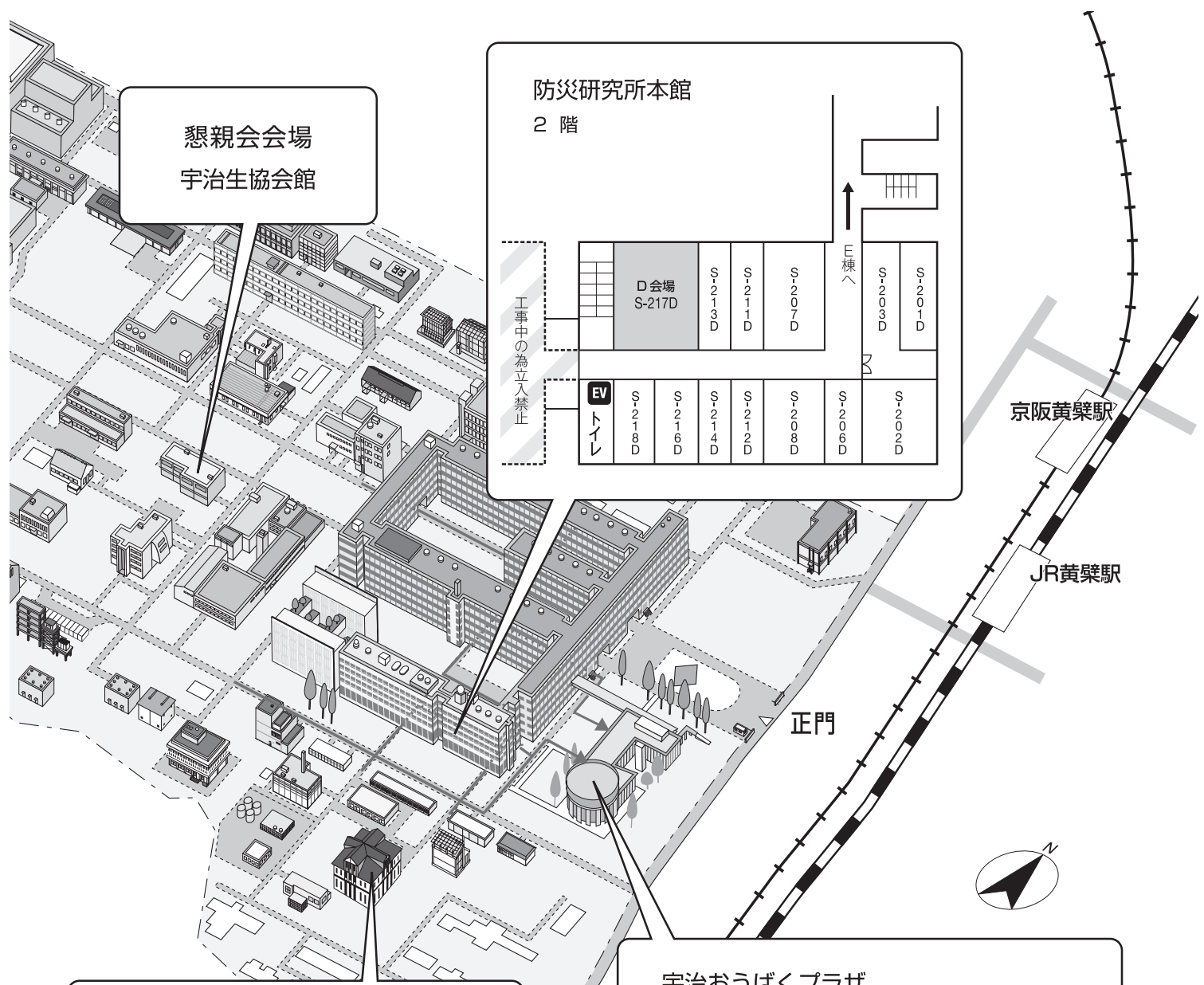
A 会場	<p>E 会場 一般講演 地震・火山(Ⅱ) 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 9:00~12:00</p>	<p>10:45 E18 稠密地震観測に基づく近畿地方北部における地震波速度構造 ○海谷絵未・片尾 浩・澁谷拓郎・飯尾能久・三浦 勉</p>
B 会場	<p>9:00 E12 桜島昭和火口の 2013 年 8 月 18 日噴火について ○井口正人・為栗 健</p>	<p>11:00 E19 近畿地方北部における地殻内 S 波反射構造の推定 ○青木 将・飯尾能久・片尾 浩・三浦 勉・米田 格・澤田麻沙代</p>
C 会場	<p>9:15 E13 桜島および始良カルデラ周辺域における水準測量(2013 年 10 月・11 月) ○山本圭吾・大倉敬宏・松島 健・横尾亮彦・相澤広記・吉川 慎・井上寛之・三島壮智・内田和也・園田忠臣・関健次郎・小松信太郎・堀田耕平・高橋温志・豊福隆史・浅野晴香・成田次範</p>	<p>11:15 E20 間隙水圧観測から検出された東北地方太平洋沖地震に伴う透水性変化 ○木下千裕・加納靖之・伊藤久男</p>
D 会場	<p>9:30 E14 昭和火口噴火活動開始以降の桜島火山の地盤変動から推定されるマグマの供給経路 ○堀田耕平・井口正人・大倉敬宏・山本圭吾</p>	<p>11:30 E21 紀伊半島北西部の定常地震活動にみられる震源クラスターと地質構造の関係 ○前田純侖・遠田晋次・片尾 浩</p>
E 会場	<p>9:45 E15 2013 年桜島人工地震探査の概要 ○中道治久・筒井智樹・為栗 健・井口正人・桜島火山反復地震探査グループ</p>	<p>11:45 E22 遠地実体波を用いた地震波エネルギーの推定 ○木内亮太・Jim MORI</p>
28 日 午前	<p>10:00 E16 桜島火山昭和火口の噴火に前駆する BH 型地震群発と地盤変動の関係 ○為栗 健・井口正人</p>	
ポスター	<p>10:15 E17 満点計画の現状と展望 ○飯尾能久・満点計画グループ</p>	
	<p>休憩</p>	

E 会場 一般講演 地震・火山(Ⅲ) 平成 26 年 2 月 28 日(金) 14:00~16:30		A 会場
<p>14:00 E23 Matched Filter Method による群発地震解析の試み ~ 2013 年飛騨山脈穂高岳付近の地震活動の例~ 大見士朗</p> <p>14:15 E24 跡津川断層周辺における微小地震の P 軸の空間変化とその原因 ○高田陽一郎・片尾 浩・飯尾能久</p> <p>14:30 E25 紀伊半島での短スパン伸縮計アレイ観測 ○加納靖之・細 善信・尾上謙介</p> <p>14:45 E26 野島断層における 1800m 深度注水実験 ○西上欽也・野島断層注水実験グループ</p> <p>15:00 E27 2013 年 4 月 13 日淡路島付近の地震(M6.3)の余震の発震機構 ○片尾 浩・久保篤規・山品匡史・松島 健・相澤広記・酒井慎一・森 健彦・藤田親亮・澁谷拓郎・中尾節郎・吉村令慧・木内亮太・三浦 勉・飯尾能久</p> <p>15:15 E28 GNSS データより明らかになった琉球海溝沿いの短期的スロースリップ 西村卓也</p>	<p>15:45 E29 2011 年東北地方太平洋沖地震前の浅部スロー地震活動 伊藤喜宏</p> <p>16:00 E30 ニュージーランド南島北部における地震観測 ○三浦 勉・飯尾能久・Richard H. SIBSON・岡田知己・松本 聡・Jarg PETTINGA・Stephen BANNISTER・平原 聡・中山貴史・中元真美・山田真澄・大見士朗・米田 格・濱田勇輝・高田陽一郎・深畑幸俊・小菅正裕・John TOWNEND・Martin REYNERS・Francesca C GHISSETTI</p> <p>16:15 E31 京都大学に所蔵されている自然災害史料の解読と画像化 福岡 浩・五島敏芳・服部健太郎・岩間研治・加納靖之・○中西一郎・植草眞之介・渡辺周平・安国良一</p>	<p>A 会場</p> <p>B 会場</p> <p>C 会場</p> <p>D 会場</p> <p style="background-color: #cccccc;">E 会場 28 日 午後</p> <p>ポ ス タ ー</p>
休憩		

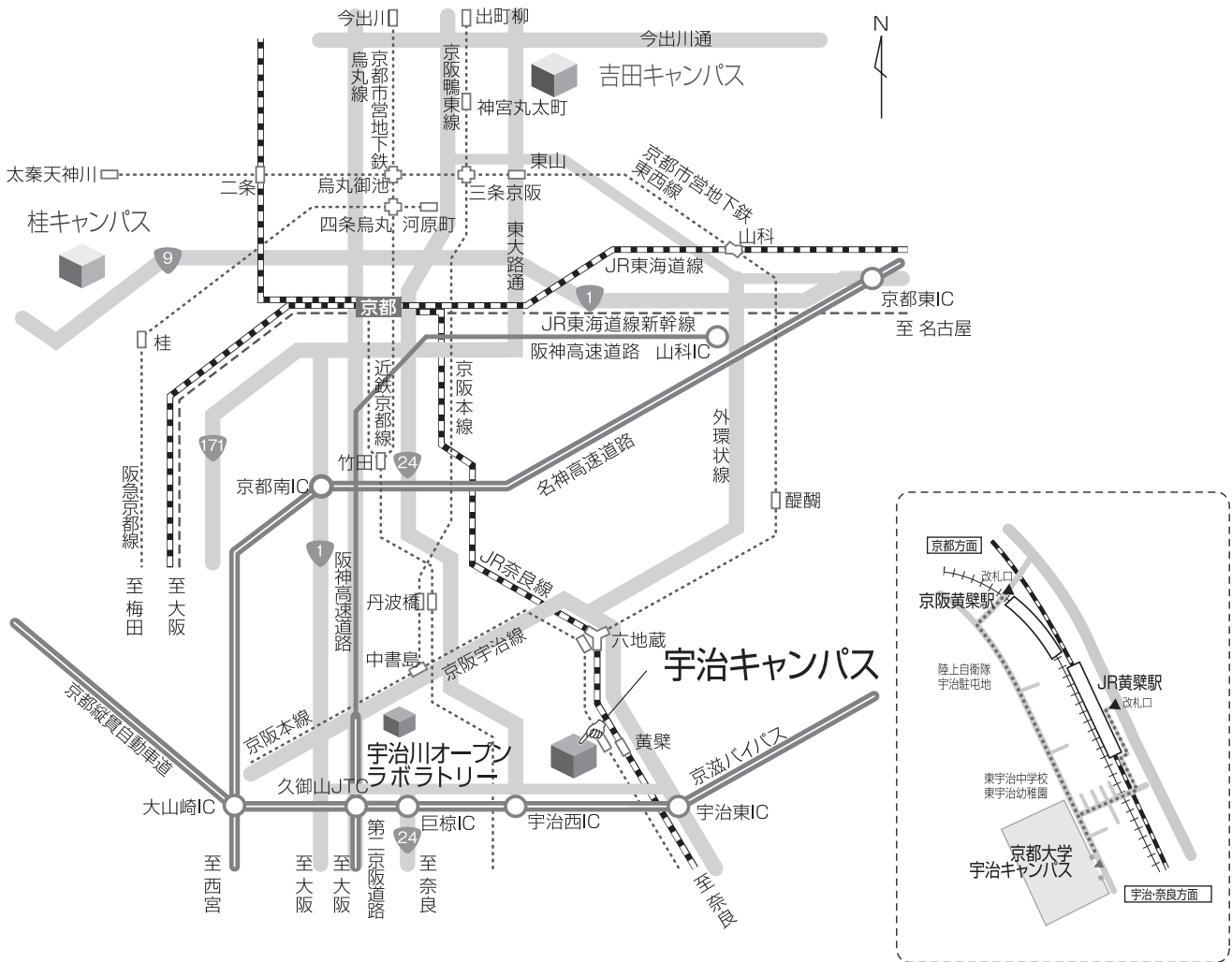
A 会場	<p>ポスターセッション</p> <p>平成 26 年 2 月 27 日 (木) 9:30~18:00 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 9:00~15:00</p> <p>ポスターセッション・コアタイム</p> <p>平成 26 年 2 月 28 日 (金) 12:00~14:00</p>	<p>P08 砂の動的引張試験の実現に向けた数値解析的検討 ○松倉敏寛・後藤浩之・澤田純男</p> <p>P09 熊野花崗斑岩の球状風化に伴う鉱物の変質と物性変化 ○平田康人・千木良雅弘</p> <p>P10 強風時における林地内の融雪特性 ○中町 聡・松浦純生・石川裕彦・丸山 敬・竹見哲也・阿部 修・柴崎達也・大澤 光</p> <p>P11 豪雪地帯の斜面変動場における浸透能の季節変化 ○大澤 光・松浦純生・岡本 隆・松四雄騎・寺嶋智巳・柴崎達也・中町 聡・阿部和時</p> <p>P12 Erosion and Stability Characteristics of Banks under Different Flood Conditions ○Ahmed Aly EL-Dien・竹林洋史・藤田正治・宮田秀介</p> <p>P13 Simulation of Sediment Disasters in the Shizugawa District, Uji ○Chen-Yu CHEN・藤田正治</p> <p>P14 固定床と移動床が混在する場における動的平衡河床の不可逆性 ○久加朋子・竹林洋史・藤田正治・宮田秀介</p> <p>P15 温帯低気圧化後急速に再発達するときの環境場に与える台風の影響 ○高村奈央・石川裕彦</p>
B 会場	<p>P01 The Analysis of Movement Process of Natural Slopes by Heavy Rainfall in Japan and in Vietnam ○Doan Huy LOI・Kaoru TAKARA・Kyoji SASSA</p> <p>P02 身体の移動が作り出す空間－個別避難訓練を通して ○孫英英・谷澤亮也・矢守克也</p> <p>P03 津波避難における要援護者支援方法の検討－神戸市長田区真陽学区を例に－ ○杉山高志・山内太郎・近藤誠司・矢守克也</p> <p>P04 広帯域地震動生成の観点に基づいた 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源モデル ○久保久彦・岩田知孝・浅野公之・青井 真</p> <p>P05 雑微動を用いた近畿地方の地震波速度不連続面検出の試み ○三輪直寛・大見士朗</p> <p>P06 2000 年鳥取県西部地震の余震活動と深部低周波地震について ○林 栄昌・Jim MORI</p>	
C 会場		
D 会場		
E 会場	<p>P07 レシーバ関数解析から推定された紀伊半島下のフィリピン海スラブ周辺の構造 ○今井基博・澁谷拓郎・中尾節郎・平原和朗</p>	
ポ ス タ ー		

<p>P16 WebGIS 技術を用いた水害リスクコミュニケーション支援システム iFRiCSS の開発 畑山満則</p>	<p>P25 横穴式地殻変動連続観測記録に含まれる潮汐成分の時間変化について ○山崎健一・寺石眞弘・小松信太郎・原田昌武</p>	<p>A 会場</p>
<p>P17 点過程モデルによる遠地誘発地震の検出 ○宮澤理稔</p>	<p>P26 桜島における粒子状物質連続観測 ○味喜大介・吉谷純一・Jónas ELÍASSON・井口正人</p>	
<p>P18 近畿北部での比抵抗構造調査 ○吉村令慧・比嘉哲也・鈴木健士</p>	<p>P27 桜島火山の地震波反射構造変化(2008-2012) ○筒井智樹・井口正人・為栗 健・中道治久・高山鐵朗・園田忠臣・桜島火山反復地震探査グループ</p>	<p>C 会場</p>
<p>P19 最近 15 年間の近畿地方の地殻変動 森井 互</p>	<p>P28 Numerical Evaluation of Settlements Versus Thickness of Surface Non-Liquefiable Layer in Urayasu City ○周 葛・飛田哲男・三村 衛</p>	
<p>P20 南九州下に沈み込むフィリピン海プレートのイメージング (3) ○澁谷拓郎・寺石眞弘・小松信太郎・山崎健一・大倉敬宏・吉川 慎・安部祐希・井口正人・為栗 健・園田忠臣・市川信夫・三浦 勉</p>	<p>P29 2013 年 10 月伊豆大島土砂災害の概要と流動化機構 ○福岡 浩・Atitkagna DOK・山田真澄・酒井直樹</p>	<p>E 会場</p>
<p>P21 ALOS/PALSAR 画像から検出した京都-大阪地域の地表面変動 橋本 学</p>	<p>P30 流砂観測への時間領域反射測定法(TDR)活用の検討 ○宮田秀介・藤田正治</p>	
<p>P22 斜面住宅計画の可能性 -東日本大震災における造成地地すべりデータベースの作成と総合的な街区耐震化モデルの提案- ○井口 隆・釜井俊孝・石原健也・宮本佳明</p>	<p>P31 モバイルマッピングシステムによる河川堤防の高精度計測 ○東 良慶・西山 哲・石川貴一郎・吉岡裕嗣・船田 征・久保田啓二朗</p>	
<p>P23 長崎計画 長坂 大</p>	<p>P32 連続型水制周辺の掃流砂分級に関する基礎研究 ○水谷英朗・中川 一・川池健司・張 浩・小倉政利</p>	

A 会場	<p>P33 田辺中島高潮観測塔における 2013 年夏季観測結果 ○馬場康之・水谷英朗・久保輝広・内山雄介・森 信人・渡部靖憲・山田朋人・猿渡亜由未・大塚淳一</p>
B 会場	<p>P34 2013 年島根県江津市・浜田市における豪雨災害 ○武藤裕則・宇野宏司・原 諭</p> <p>P35 MRI-AGCM3.2S による短波放射の再現性評価とバイアス補正に関する基礎的研究 ○萬 和明・奥村卓弥・立川康人</p>
C 会場	<p>P36 都市近郊における大気境界層の観測 -不安定時の乱流構造- 堀口光章</p>
D 会場	<p>P37 乱流構造に基づく SGS モデルを用いた微気象場の数値計算手法の構築 井上 実</p>
E 会場	
ポ ス タ ー	



会場へのアクセス



～ 懇親会のご案内 ～

日時：平成26年2月28日（金）18：00～20：00

場所：宇治生協会館（21ページの地図をご参考ください）

[教職員・学生の皆さまへ]

懇親会は完全チケット制で事前申し込みが必要です

[連絡先]

京都大学防災研究所広報出版企画室

0774 (38) 4640

e-mail : dpri-ksk@dpri.kyoto-u.ac.jp

http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp